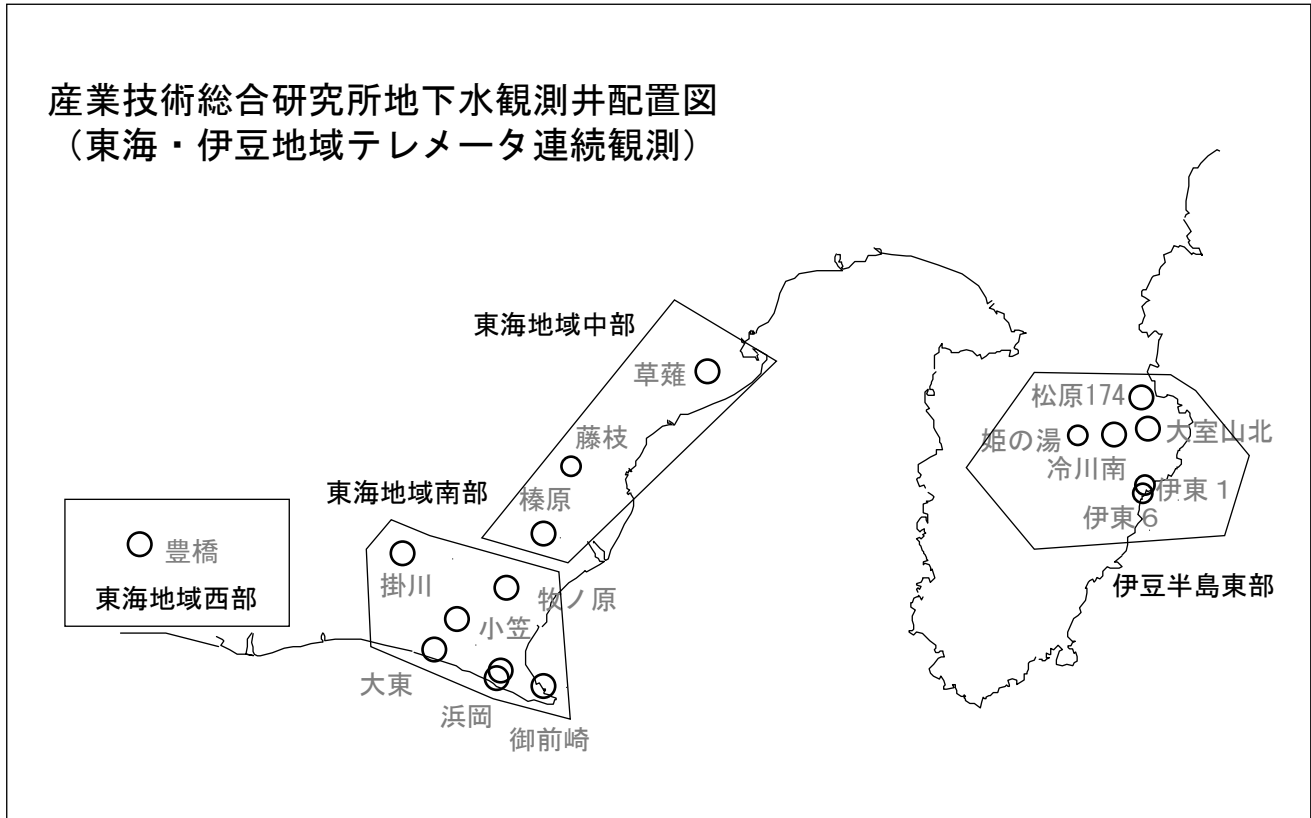


東海・伊豆地域の地下水観測結果
(2002年5月～2002年7月)



- 資料目次
1. 東海地域中部 (松原・草薙) 地下水 3成分歪: 中期
 - 1-b. 東海地域中部 (草薙) 3成分歪: 中期
 2. 東海地域中部 (松原・草薙) 地下水 3成分歪: 長期
 - 2-b. 東海地域中部 (草薙) 主歪解析: 長期
 3. 東海地域南部 (大東・小笠・浜岡・御前崎) 地下水: 中期
 4. 東海地域南部 (大東・小笠・浜岡・御前崎) 地下水: 長期
 - 4-b. 東海地域南部 浜岡・掛川観測井の水位・沈下データと水準測量との関係
 - 4-c. 東海地域南部 (浜岡) 地下水・沈下: 中期
 - 4-d. 東海地域南部 (掛川) 地下水・沈下: 中期
 5. 東海地域西部 (豊橋) 地下水 3成分歪・傾斜: 中期
 - 5-b. 東海地域西部 (豊橋) 3成分歪・傾斜: 中期
 6. 東海地域西部 (豊橋) 地下水 3成分歪・傾斜: 長期
 - 6-b. 東海地域西部 (豊橋) 主歪解析: 長期
 - 6-c. 東海地域西部 (豊橋) 主歪の時間変化: 長期
 7. 伊豆半島東部 (松原174・大室山北・冷川南・伊東1・伊東6) 地下水: 中期
 8. 伊豆半島東部 (松原174・大室山北・冷川南・伊東1・伊東6) 地下水: 長期

平成14年8月19日

第199回
地震防災対策強化地域判定会

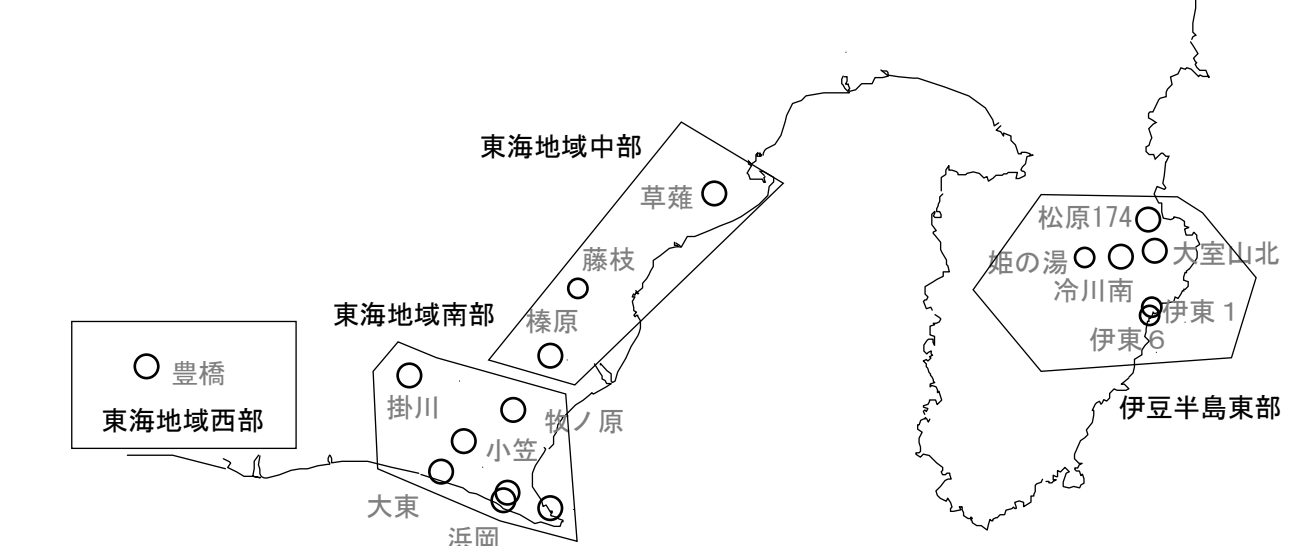
委員打合せ会

産業技術総合研究所

地質調査総合センター資料

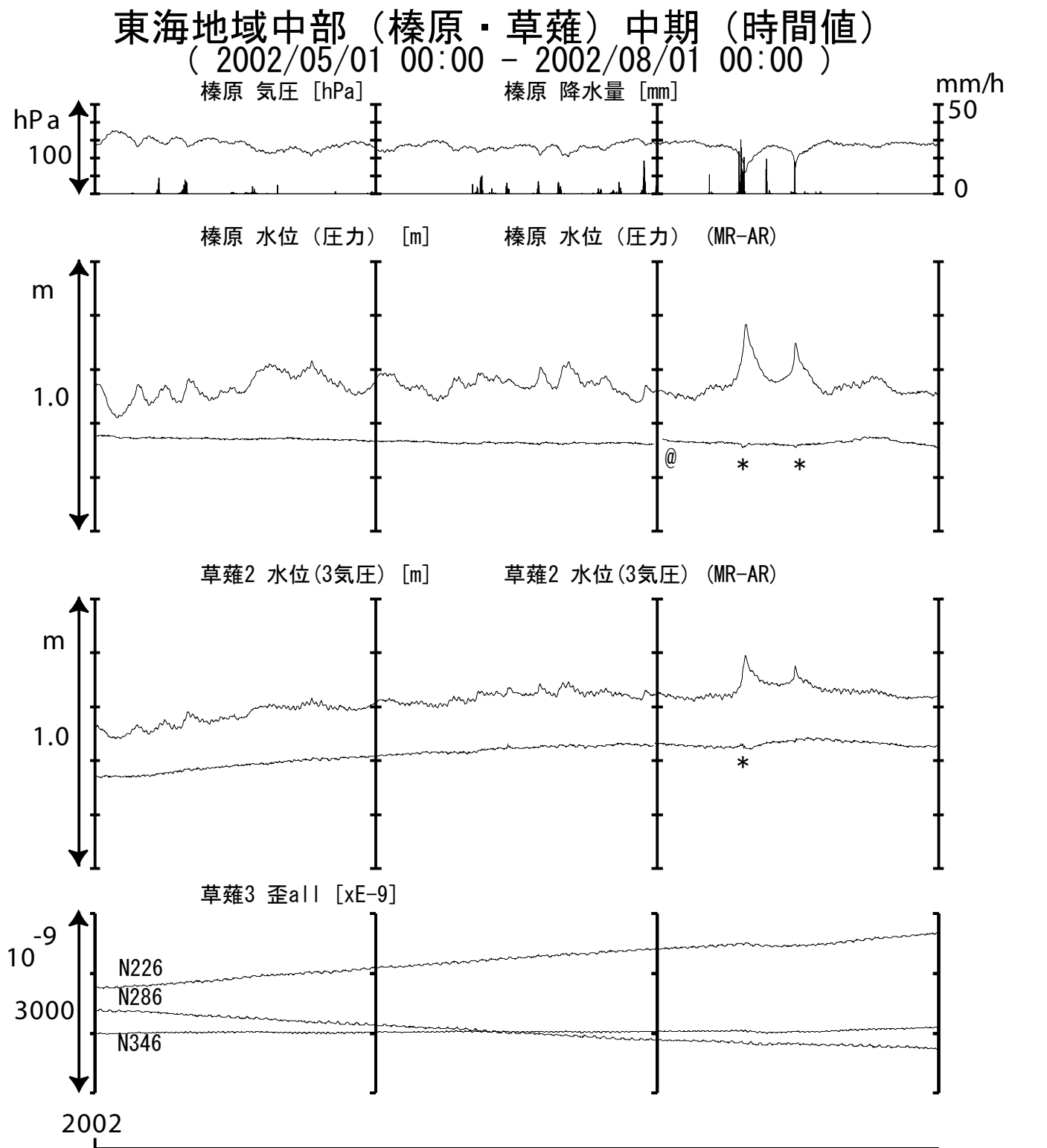
産総研地質調査総合センター地下水観測井配置図

(伊豆・東海地域テレメータ連続観測)

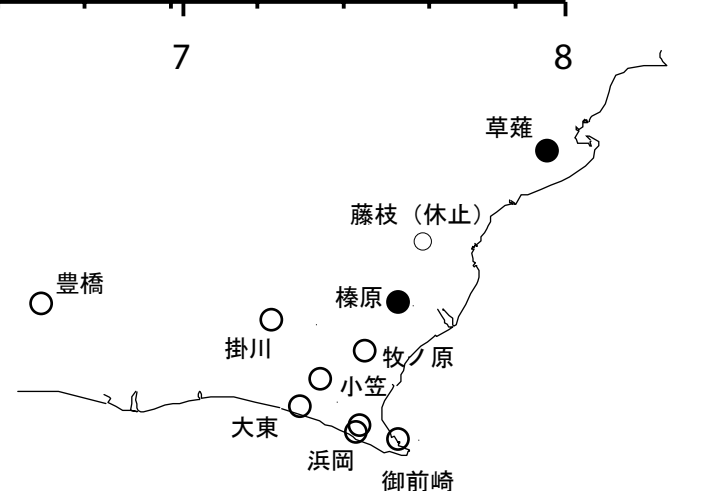


- 資料目次
1. 東海地域中部 (松原・草薙) 地下水 3成分歪: 中期
 - 1-b. 東海地域中部 (草薙) 3成分歪: 中期
 2. 東海地域中部 (松原・草薙) 地下水 3成分歪: 長期
 - 2-b. 東海地域中部 (草薙) 主歪解析: 長期
 3. 東海地域南部 (大東・小笠・浜岡・御前崎) 地下水: 中期
 4. 東海地域南部 (大東・小笠・浜岡・御前崎) 地下水: 長期
 - 4-b. 東海地域南部 浜岡・掛川観測井の水位・沈下データと水準測量との関係
 - 4-c. 東海地域南部 (浜岡) 地下水・沈下: 中期
 - 4-d. 東海地域南部 (掛川) 地下水・沈下: 中期
 5. 東海地域西部 (豊橋) 地下水 3成分歪・傾斜: 中期
 - 5-b. 東海地域西部 (豊橋) 3成分歪・傾斜: 中期
 6. 東海地域西部 (豊橋) 地下水 3成分歪・傾斜: 長期
 - 6-b. 東海地域西部 (豊橋) 主歪解析: 長期
 - 6-c. 東海地域西部 (豊橋) 主歪の時間変化: 長期
 7. 伊豆半島東部 (松原174・大室山北・冷川南・伊東1・伊東6) 地下水: 中期
 8. 伊豆半島東部 (松原174・大室山北・冷川南・伊東1・伊東6) 地下水: 長期

平成14年7月29日

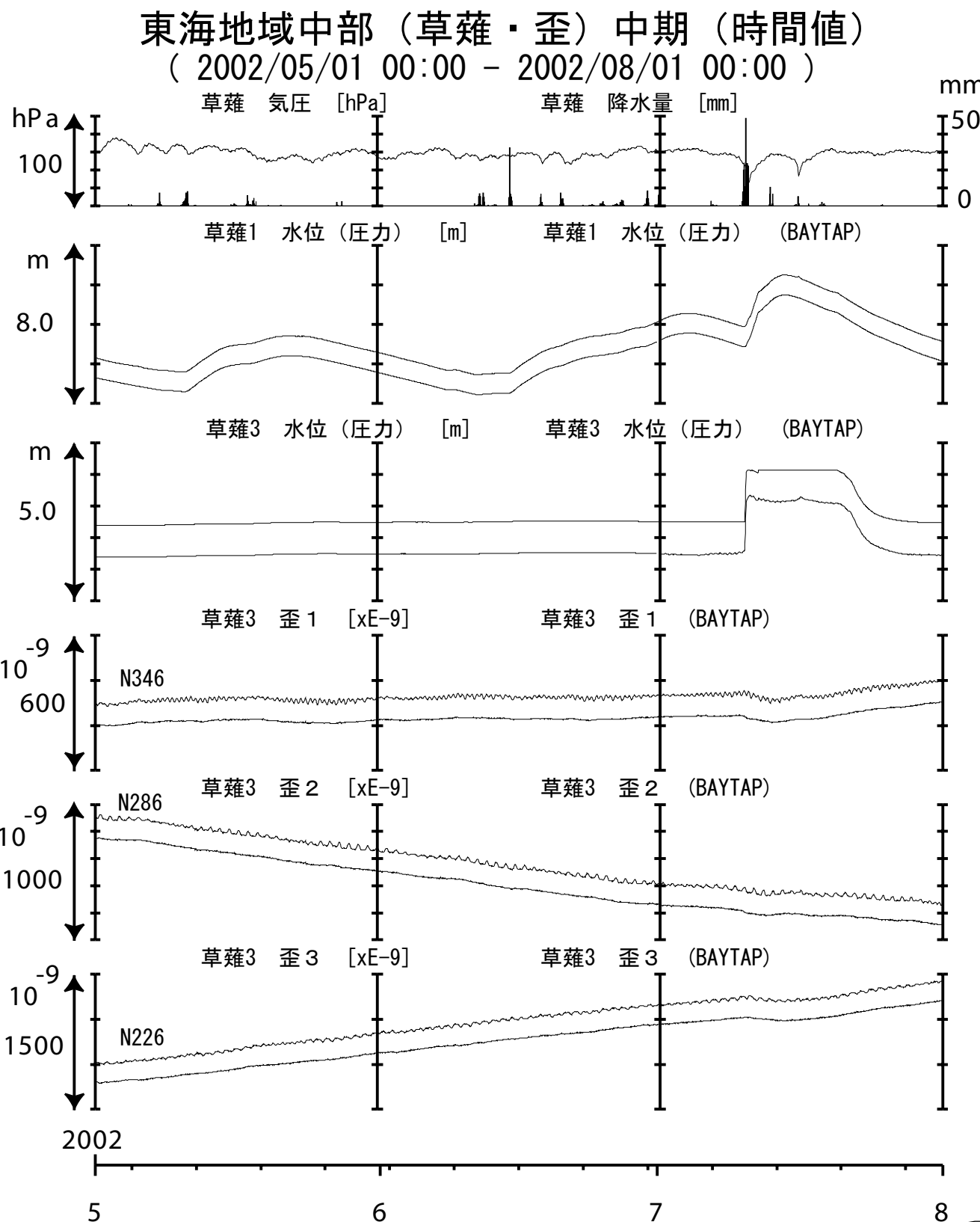


コメント: 8月初めの補正値のギャップは、
解析プログラムの見かけ上のものである。
*雨量補正不十分。
7月10日前後からの歪変化については、
資料1bのコメントを参照のこと。



東海地域中部 中期

産総研地質調査総合センター 資料-1

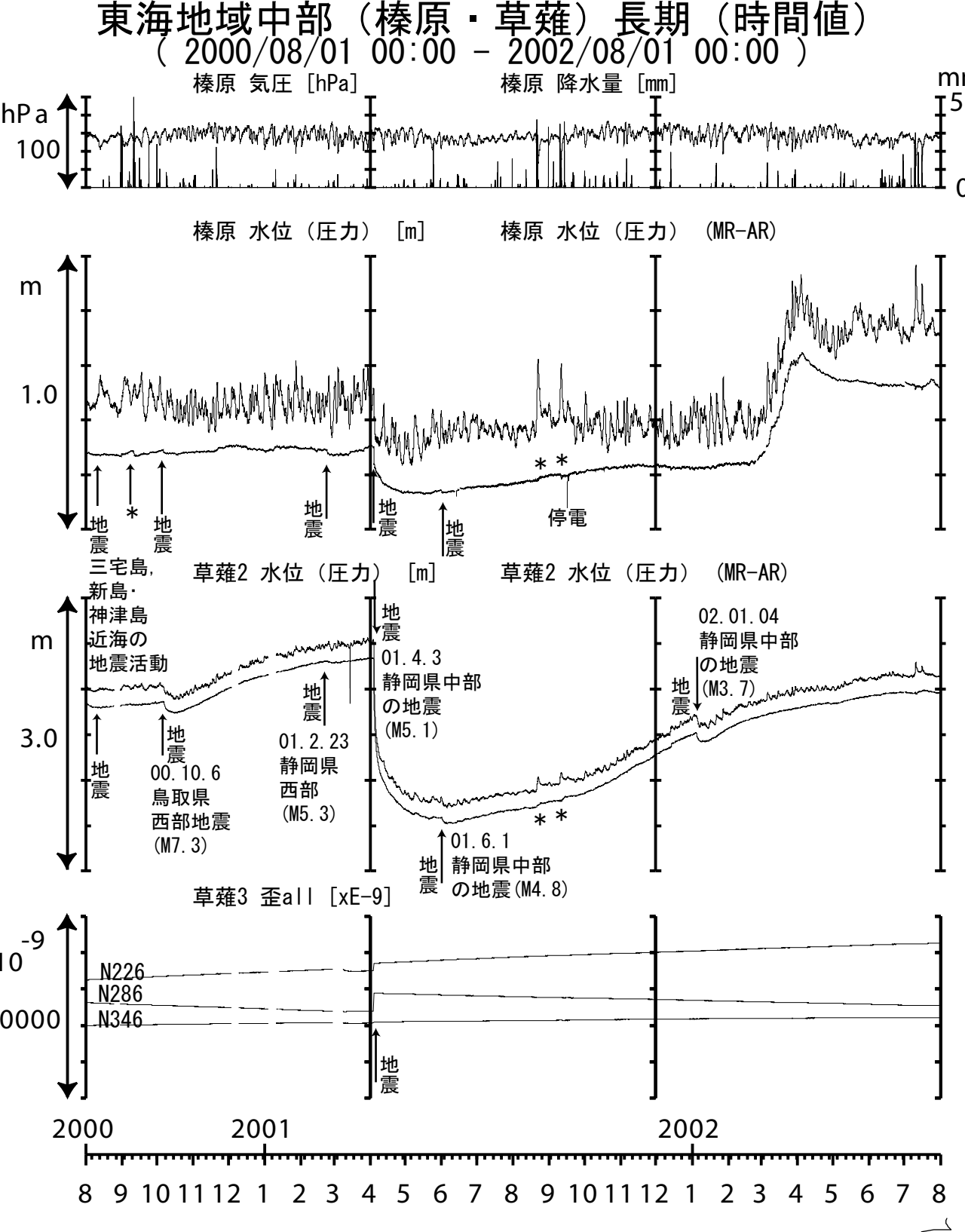


コメント: 7月10日前後の草薙3の水位増加は、
草薙1 (浅井戸) から溢れた水が入り込んだため。
その水位増加により歪3成分が増えている。



東海地域中部 中期

産総研地質調査総合センター 資料-1b

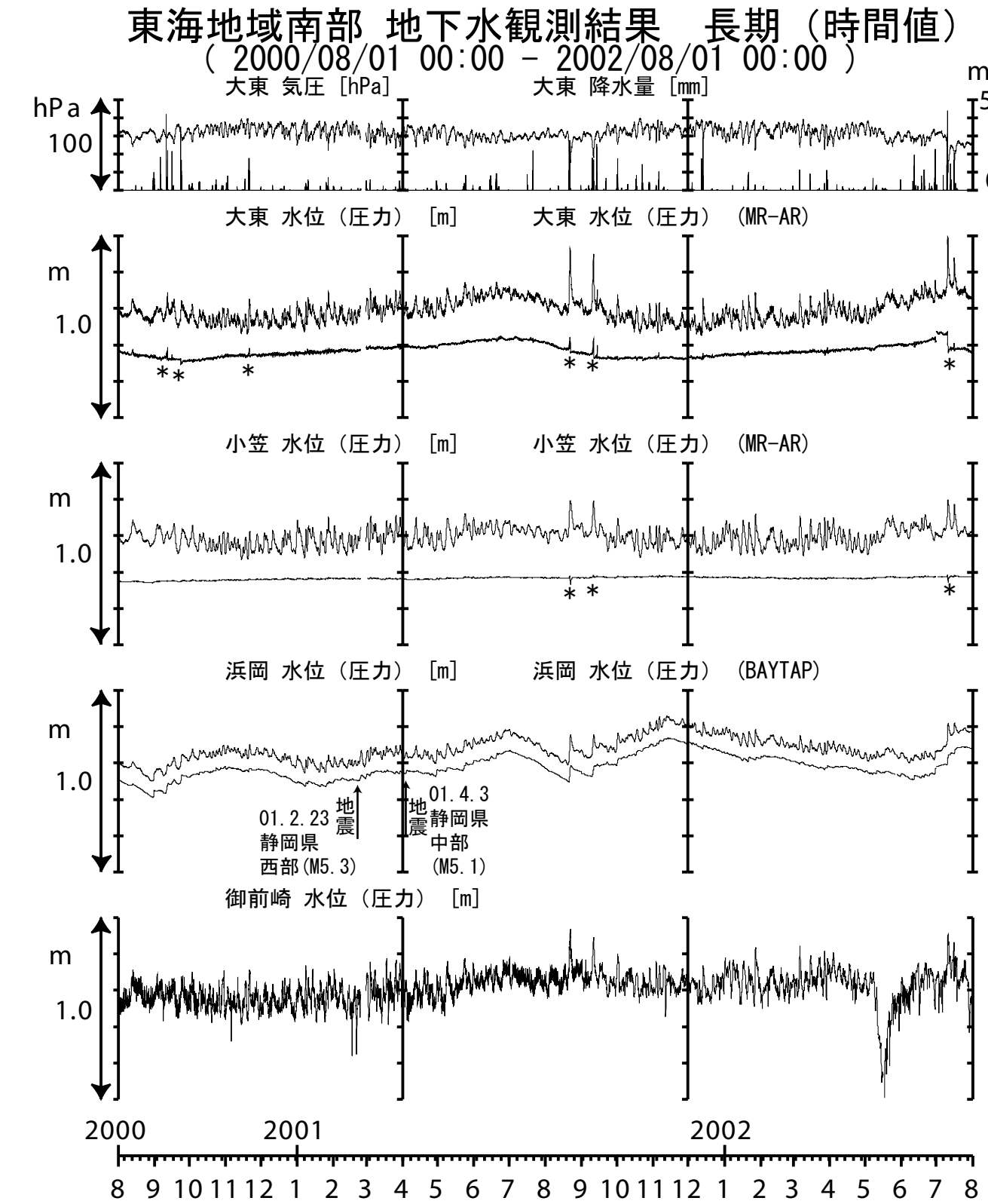


コメント:
2002年2月から松原の水位が上昇しているが、
静岡空港建設工事による盛り土工事
(工事期間2002年2月13日～4月8日)
の影響が出ている可能性が高い。
2002年7月からの松原の水位上昇は、
台風による大雨の影響である可能性が高い。
*雨量補正不十分。



東海地域中部 長期

産総研地質調査総合センター 資料-2

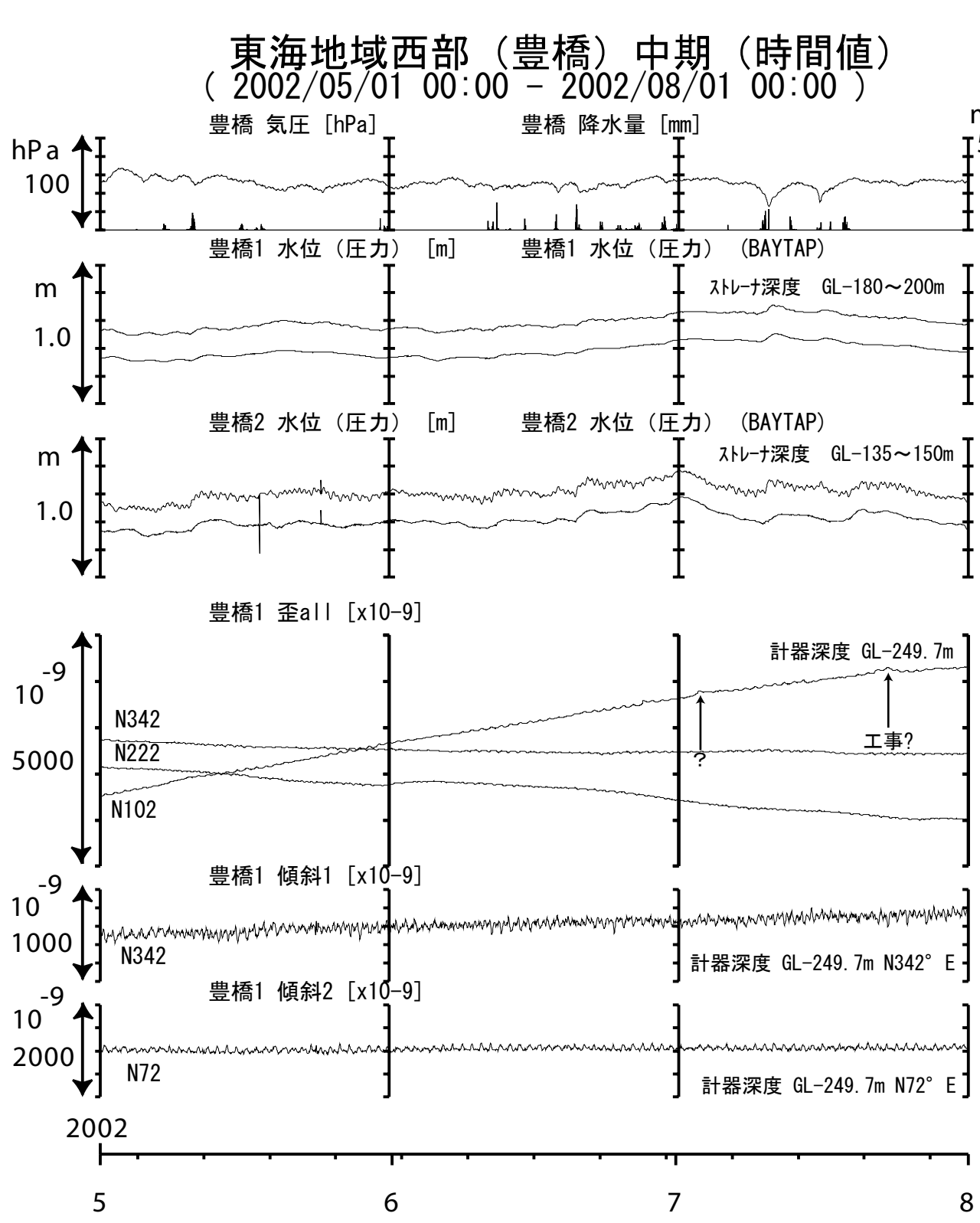


コメント:
*雨量補正不十分。
2002年5月初めからの御前崎の水位低下は、
配管からの水漏れ及び水抜きによる。
5月16日に応急処置をしたが、
水位はまだ不安定である。



東海地域南部 長期

産総研地質調査総合センター 資料-4

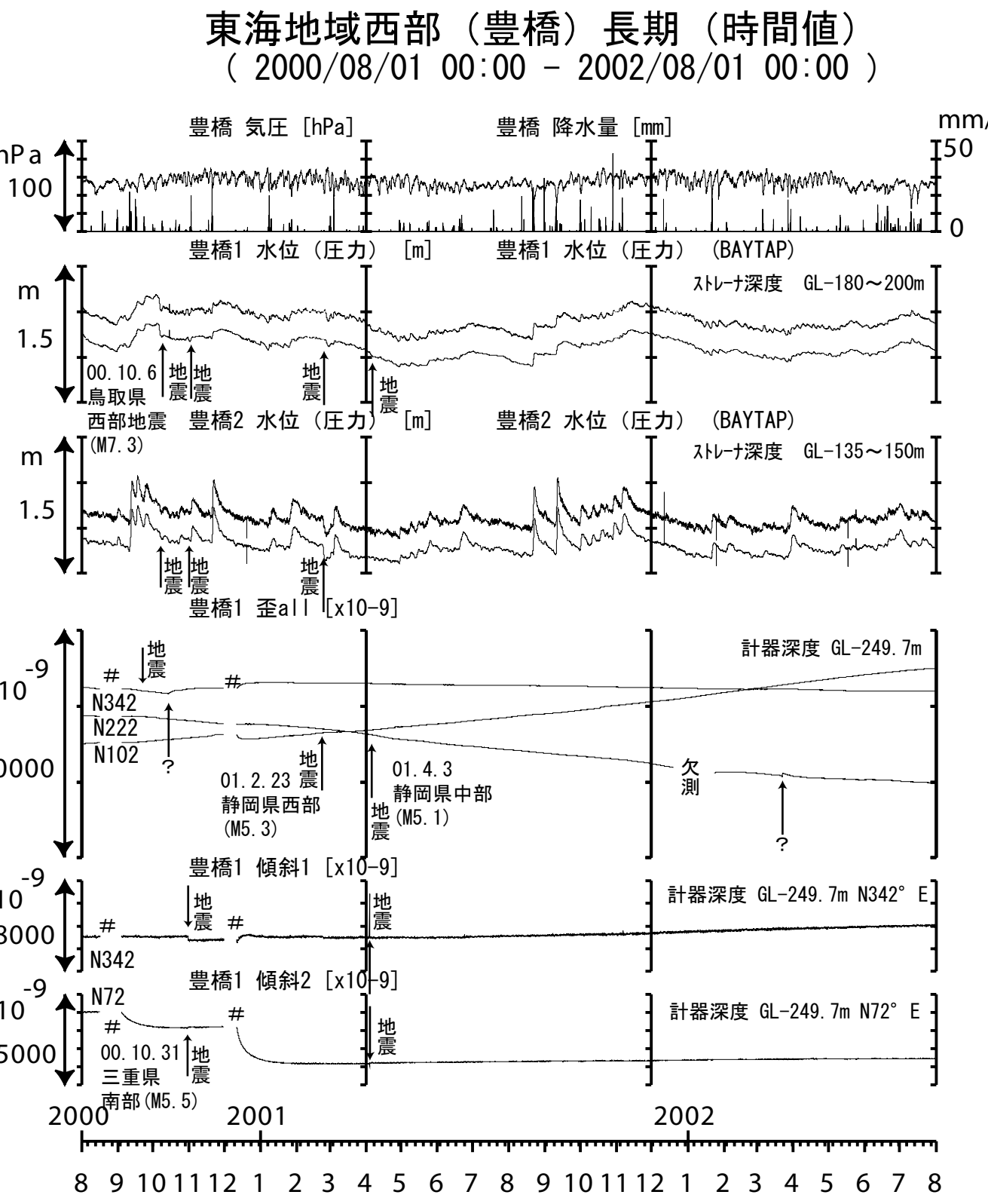


コメント: ?原因不明。
7月22日から観測点から約200m離れた場所で、
トンネル掘削工事が始まった。
歪1の傾向が7月23日から変化している。



東海地域西部 中期

産総研地質調査総合センター 資料-5

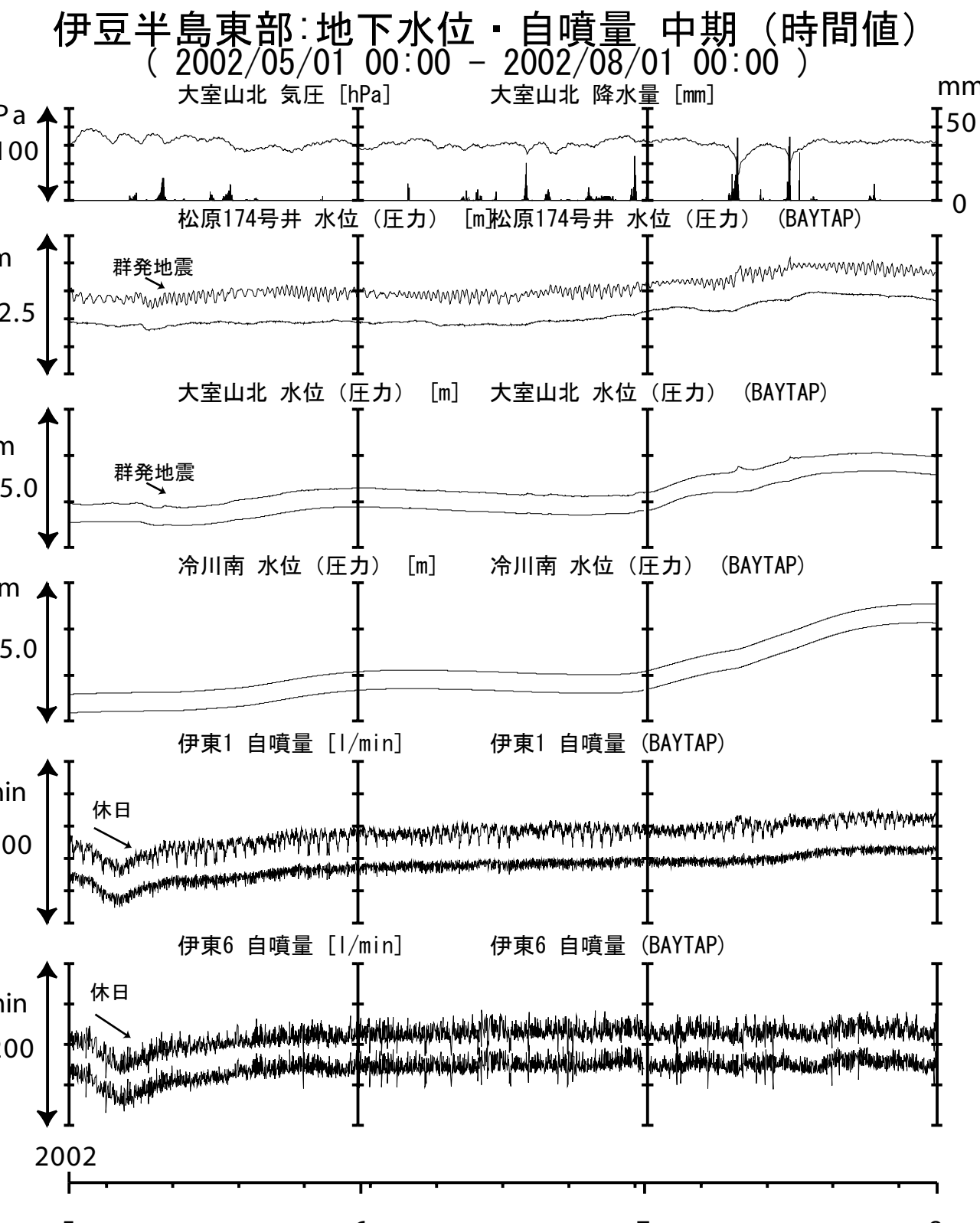


コメント: #バッテリー消耗。
?原因不明。



東海地域西部 長期

産総研地質調査総合センター 資料-6

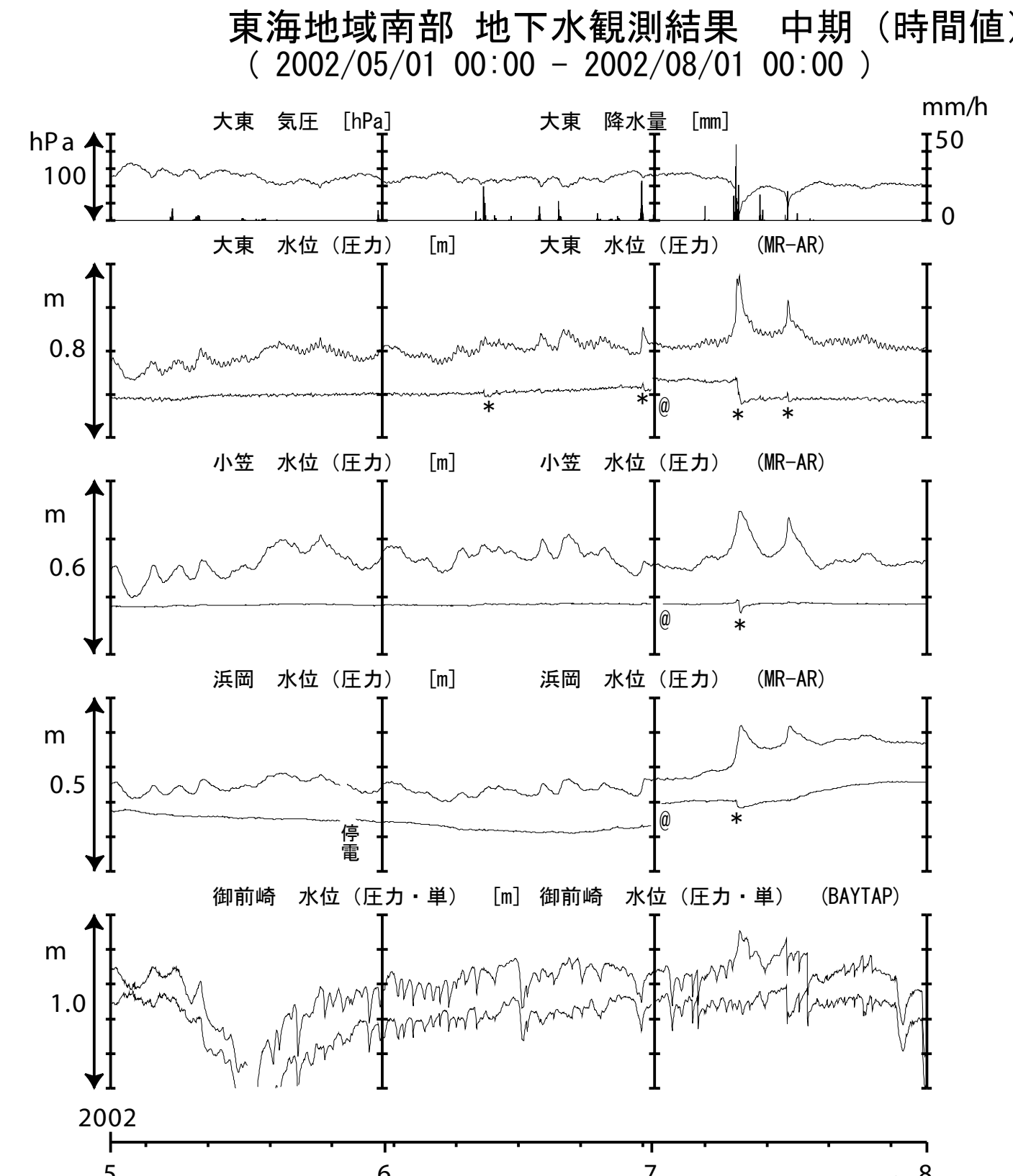


コメント:
松原174号井は静岡県による観測。
伊東は、休日・年末年始に温泉使用量が増加
するため、自噴量が減少する。
伊東6のばらつきは配管の問題に
よると思われる。
5月8日からの伊豆半島東方沖群発地震の
発生約12時間前から大室山北と松原174号井の
水位が低下している。



伊豆半島東部 中期

産総研地質調査総合センター 資料-7

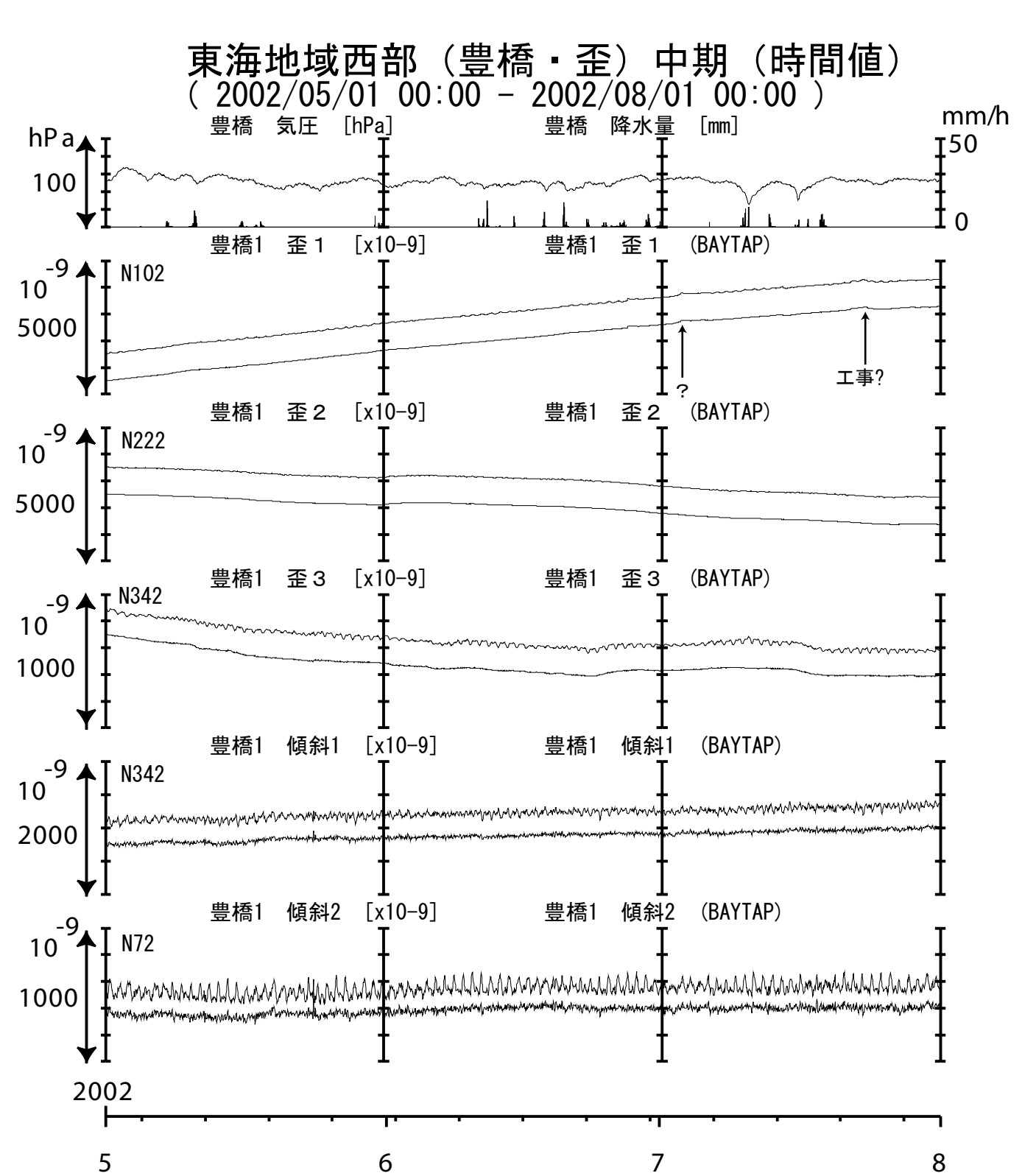


コメント:
*雨量補正不十分。
8月初めの補正値のギャップは、
解析プログラムの見かけ上のものである。
5月初めからの御前崎の水位低下は、
配管からの水漏れ及び水抜きによる。
5月16日に応急処置をしたが、
水位はまだ不安定である。



東海地域南部 中期

産総研地質調査総合センター 資料-3

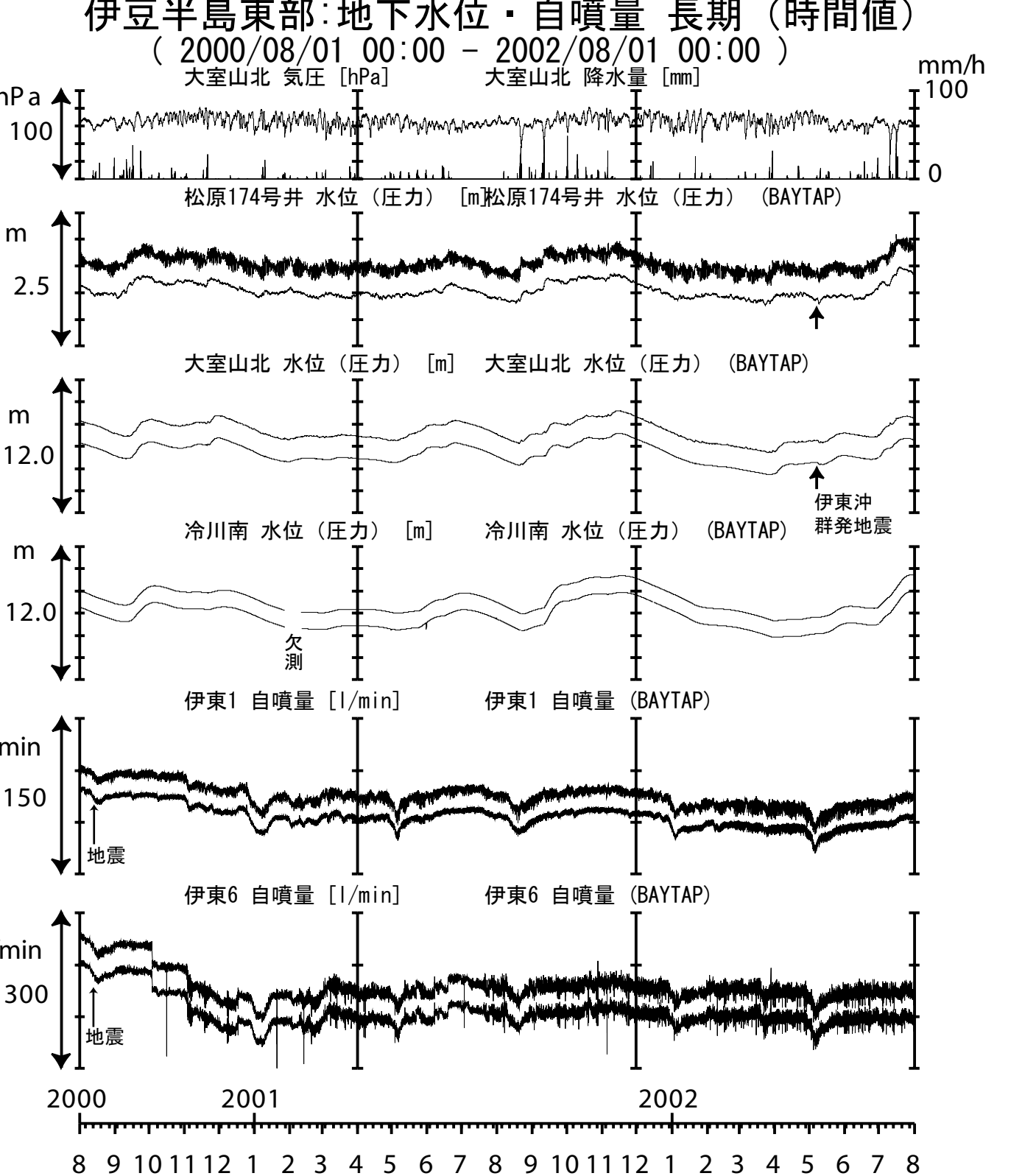


コメント: ?原因不明。
7月22日から観測点から約200m離れた場所で、
トンネル掘削工事が始まった。
歪1の傾向が7月23日から変化している。

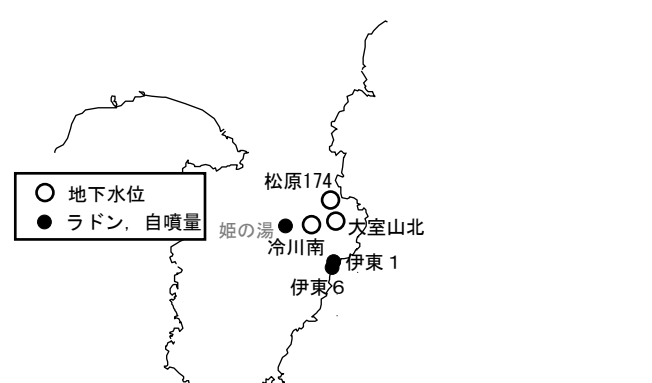


東海地域西部 中期

産総研地質調査総合センター 資料-5b



コメント:
松原174号井は静岡県による観測。
伊東6では2000年6月末からの
新島・神津島の地震活動に対応した
自噴量の増加が見られたが、8月始めに
減少し8月中旬に収まった。
伊東6のばらつきは配管の問題によると思われる。



伊豆半島東部 長期

産総研地質調査総合センター 資料-8